

madame

FIGARO

フィガロジャポン

japon

2006 No.319

6/5
500
yen

旅特集・永久保存版

田園を抜けて小さな町へ

トスカナの休日。

モードエリートは、
プレ・コレクションを狙う!

彼女のつぶやきは心に切ない
江國香織の心境・近況。

ジュエリー
スペシャル

いま欲しいのは、
おしゃれジュエリー。
バーゼル&ジュネーヴ
時計トレンド最前線。

別冊付録

HANKYU BEAUTY BOOK
夏のスターコスメ
大全集。

とじ込み付録

古い街角で新しい発見

フィレンツェの
散歩道。



シナルンガ

ロカンダ・ デッラモローザ

夢見るように遊び、暮らす、
中世の館で至福のいちにち。

糸杉の長いアプローチは時代を遡る魔法のトンネル。アーチの先には中世さながらの広大な中庭と建物。14世紀には貴族の荘園だったというアグリトゥーリスモには、いまなお現役の時計台や教会までもが当時の姿のままあって、ホテルというよりも小さな村の住人になったような気分だ。部屋のつくりも中世の頃から変わらぬままに、インテリアは上品な18世紀のもの。窓から糸杉を眺めながら、まずはゆっくりと昼間のバスタイム。旅の疲れがとれたら外のクローバーのテラスで午後のティータイムが待っている。採れたてのハーブなどを使った料理はまるで一枚の絵画のように洗練されていて味も抜群! トラットリアから出る頃には、満天の星が至福のいちにちの最後を飾る。

Locanda dell'Amorosa

Localita' l'Amorosa, 53048, Sinalunga
☎0577・677211 FAX0577・632001
全25室 バス付き24室 シャワーのみ1室
スタンダード234ユーロ、スーパーリア290ユーロ、
デラックス335ユーロ、
スペシャルデラックス355ユーロ、
スイート375ユーロ、
スペシャルスイート440ユーロ、
ラグジュアリースイート660ユーロ 朝食込み
カード: A、D、M、V www.amorosa.it



時間はたっぷりある! 午後は敷地内をお散歩。上: 広い中庭で太陽を浴びながらティータイム。右: 静かでかわいらしい教会の中には16世紀初頭のフレスコ画が。右下: ひまわりや藤の花が咲いて、初夏は1年で一番素敵な季節。



●フィレンツェから車でA1号線でROMA方面へ。BETTOLLE出口を出てSINALUNGAへ。約1時間10分。電車ではフィレンツェのSANTA MARIA NOVELLA駅からSINALUNGA駅まで約1時間45分。



上: かつては農民が住む母屋だったという右側の建物もいまはゴージャスな客室。回廊の美しいこと! 左: フロントのとなりのロビー。部屋に入る前に気持ちのいいソファでまずはゆったり。



右: 54号室には広いテラスまでついて、束の間の姫気分。上: あたたかな色でまとめられたリビングルームにも、トスカーナの陽射しがさんさんとさし込んで、心から来てよかったと思える瞬間だ。



右: 何百メートルもある糸杉の道は、このアグリトゥーリスモだけに続くアプローチ。左: きちんとメイドの制服を着た女性が、午後になるとバタバタと小走りで敷地を移動。そんな姿も楽しくて。



スペシャルスイート54号室のベッドルーム。素朴だけど洗練度抜群!



上: 農園で採れたものを食事に出してくれるのがアグリトゥーリスモ。右: 手前から豚肉のハム包み焼き「Filetto di Maiale Avvolto in Prosciutto Agli Agretti」25ユーロ、青野菜のバスタ包み「Crespelle alle Puntarelle e Pecorino con Prosciutto Crudo」14ユーロ、豆と牛肉のサラダ「Insalata di Canellini con Sfilacci di Chianina」14ユーロ。一流シェフの美意識がぎゅーりつまった、感涙ものおいしさだ。

